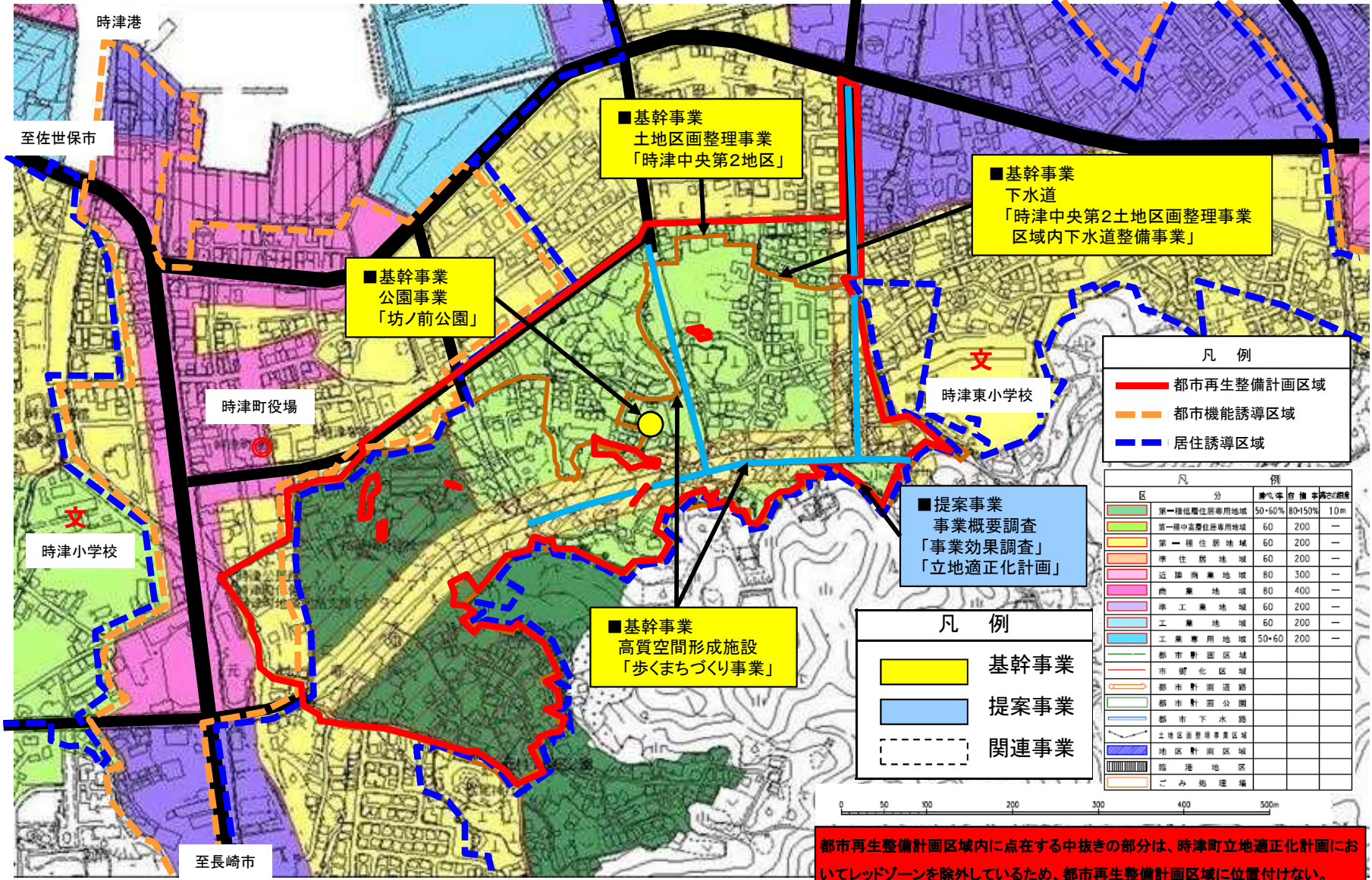


時津中央地区(第2期)(長崎県時津町) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	安心・安全・快適で住み続けたい「まち」の再生	代表的な指標	生産年齢人口比率の維持 (%)	57.7% (R3年度)	→	58.0% (R8年度)
			地価の向上 (%)	100.0% (R3年度)	→	102.0% (R8年度)
			生活道路へ流入する通過交通の減少 (台/時)	800台/時 (R3年度)	→	400台/時 (R8年度)



凡例

- 都市再生整備計画区域 (Red dashed line)
- 都市機能誘導区域 (Orange dashed line)
- 居住誘導区域 (Blue dashed line)

凡例

区	分	歩行率	歩幅	歩道の幅
第一種低層住居専用地域	50-60%	80-150%	10m	
第一種中高層住居専用地域	60	200	—	
第一種住居地域	60	200	—	
準住居地域	60	200	—	
近隣商業地域	80	300	—	
商業地域	80	400	—	
準工業地域	60	200	—	
工業地域	60	200	—	
工業専用地域	50-60	200	—	

凡例

- 基幹事業 (Yellow box)
- 提案事業 (Blue box)
- 関連事業 (Dashed line)

都市再生整備計画区域内に点在中抜き部分は、時津町立地適正化計画においてレッドゾーンを除外しているため、都市再生整備計画区域に位置付けない。